

北野病院からのお知らせ

腎臓病教室のお知らせ

腎臓病を知っていただくために腎臓病教室を開催します。ご家族の方も一緒にご参加ください。なお、内容は変更する場合がございますので、予めご了承くださいませようよろしくお願いいたします。

◇今日からできる!食事療法の基本とコツ

日にち/平成28年11月15日(火)
担当者/管理栄養士

◇慢性腎臓病と運動療法 検査でわかる事

日にち/平成29年1月24日(火)
担当者/理学療法士・臨床検査技師

◇利用できる福祉制度 腎臓病の薬について

日にち/平成29年2月28日(火)
担当者/医療ソーシャルワーカー・薬剤師

- 時間:14:30~15:45
- 場所:きたのホール
- お問い合わせ:血液浄化センター
TEL.06-6312-1251



無料でご参加いただけます。また、事前のお申込など必要ありませんので、お気軽にお越しください。

5階プラナホールイベント

◇ピアノ・バイオリンコンサート

日時/平成28年11月1日(火) 15:30開演
出演/東堂さん・福岡さん

◇ソロモンバンドXmasコンサート

日時/平成28年12月17日(土) 13:45開演
出演/大阪伝法キリスト教会



無料でご参加いただけます。また、事前のお申込など必要ありませんので、お気軽にお越しください。

「心肺蘇生法」の講習会

当院では、救急部の看護師による心肺蘇生の市民講座を開催しています。

人形を使いAED(自動体外式除細動器)や心臓マッサージを実際に行うことで、救急車が到着するまでの救急蘇生法について学ぶことができます。

救急車の平均到着時間は約8.6分といわれています。心停止から1分ごとに、救命率は7~10%下がります。緊急の事態に遭遇したときに適切な応急手当ができるように、日頃から応急手当を学び、身につけておきましょう。

救命の可能性は時間とともに低下しますが、救急車が到着するまでの間、居合わせた人が応急手当を行うことにより、救命・社会復帰の可能性が高くなります。命をつなぐリレーにご参加ください。



日時: 奇数月(9月、11月、1月、3月、5月、7月)
第2金曜日 午前10時から
場所: 北野病院5階 第6会議室
参加費: 無料
お申し込み: TEL 06-6312-1221
※救急部(1階)、または当日会場にて受付しております。

糖尿病教室にご参加ください。

当院では、糖尿病やその合併症について各専門分野の医師・スタッフが皆さまに分かりやすく解説する「糖尿病教室」を開催しています。当教室では、「糖尿病ってどんな病気?」「合併症って何に気をつければいいのか?」といった疑問にお答えするため、各部署の専門スタッフが揃っています。

開催予定とその内容は、当院ホームページでもご覧いただけます。どなたでも無料でご参加いただけますので、どうぞお気軽にご参加ください。

日時: 毎週水曜日(第5週除く) 14:00~15:00
場所: 5階 第1会議室



糖尿病教室開催の様子

寄附者一覧(平成28年7月~9月)

【法人】 中川電機株式会社様
大阪赤十字病院様
医療法人たかばたけウイメンズクリニック様
医療法人竹村医学研究会様
社会医療法人美杉会様 匿名 18法人様

【個人】 奥田 実様 吉岡美佐子様 高里盛浩様
徳丸相子様 南 正博様 稲田芳枝様
中山 進様 辻井真理子様 田中 寛様
松本 巖様 端 和夫様 船内武司様
川原武雄様 菊地康人様 丹羽権平様
南部正敏様 匿名 13名様(順不同)



患者様と北野病院をつなぐ連絡帳

きたの通信

No.58 2016. 秋号

公益財団法人 田附興風会 医学研究所
北野病院



きたのトピックス 病院長就任のご挨拶

かんごホットToday
多職種チームによる心不全教室のご紹介

糖尿病とは?

糖尿病の原因から治療法について

医療のコトバ これって何?
人工内耳のこと、ご存知ですか?

あなたのまちのホームドクター
米田内科胃腸科(大阪市北区)

北野病院からのお知らせ

ご自由にお持ち帰りください



多職種チームによる心不全教室のご紹介

日頃の生活習慣を見直し、実施することで さまざまな症状を改善できる、 心不全教室へ参加してみませんか？

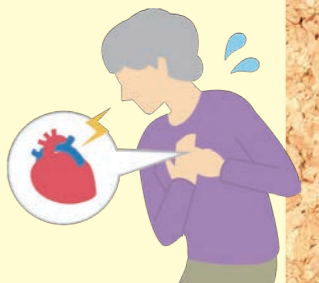


8階東病棟は、心臓センター（循環器内科・不整脈科・心臓血管外科）を主とする病棟です。病床数は一般病床39床にCCU（冠疾患集中治療室）6床を含めた45床で、各疾患に対して、急性期だけでなく、慢性期に必要な治療にも対応した入院診療にあたっています。昨年度より循環器内科の中根副部長が発起人となり、心不全で入院中の患者様を対象に心不全教室を開催しています。心不全とは病気の名前ではなく、何らかの心臓の病気が原因となって心臓機能が低下し、全身の臓器に必要な血液を送り出せなくなった状態のことを言います。症状としては、動悸・息切れ・尿量の減少・浮腫（むくみ）・呼吸困難などが現れます。また、心不全は繰り返し起こることがあり、基礎疾患の悪化や感冒（※）などがきっかけとなり悪化することもあります。多くは誤った生活習慣が原因となっています。



心不全教室のようす

以前より看護師による心不全教育を行ってきましたが、現在は、医師・薬剤師・看護師・理学療法士・栄養士・MSW（医療ソーシャルワーカー）といったスタッフがそれぞれの専門的知識を患者様へ提供し、心不全を予防する取り組みをチームで行っています。2週間を1クールとし、月・水・金曜日の午後3時から1時間かけて教室を開催しており、個別質問



にも対応しています。患者様だけでなく、ご家族様にも教室を受けて頂くことで、日頃の生活習慣を見直し、今後の生活をどのようにするか一緒に考えて頂くよい機会にしています。2～3名の少人数から、多いときは10名ほどの患者様・ご家族様が受講されており、一人ひとりの患者様が自己管理できるよう支援させて頂いております。

（※）体を急激に寒気にあてた際などに起こる呼吸器系の疾患の総称。



心不全教室のスタッフ

病院長就任のご挨拶



北野病院 病院長
吉村 長久

平成28年9月より病院長を拝命しました吉村です。北野病院を受診される皆様にひとことご挨拶申し上げます。

北野病院は、実業家であった田附政次郎氏の寄附によって設立された田附興風会医学研究所での臨床医学研究を目的として昭和3年に発足しました。以来90年余り京都大学医学部と密接な関係を保ちながら、大阪の地に常に最先端の医療を提供するとともに、臨床医学研究を行う病院として活動してきました。良い医療を行いながら新しい医学・医療を開発して行くとともに、次世代の医療を担う人材を教育

するという北野病院の基本姿勢は今後も変わることはありません。

現在の日本は、歴史上どの国も経験したことのない高齢化社会を迎えようとしています。このような時代には北野病院が果たすべき役割は更に大きくなると考えられます。今後とも、患者さまに満足して頂けるような医療、そして私たち医療者が心から良かったと思えるような医療を提供していけるよう、職員一同、力を合わせて努力していきたいと思っています。何卒、宜しく申し上げます。

生化学自動分析装置の更新について

平成28年7月中旬に生化学自動分析装置の更新を行いました。生化学自動分析装置とは、主に採血した血液を遠心分離により上清の血清だけを取り出し、その血清を使って、肝機能（AST・ALT等）、脂質（コレステロール・中性脂肪等）、腎機能（クレアチニン・電解質等）を高速でサンプリングし、検査結果を迅速に自動報告する装置です。今回の更新は、処理能力がより高い装置に入れ替え、皆さまの検査結果待ち時間を短縮させることを目的としました。また、同じ機種を複数台使用することにより、機器のトラブル発生時の結果報告遅延を最小限に抑えることも可能となりました。これからもさらなる患者サービスの向上に努めてまいります。



ドクター・看護師・薬剤師、放射線技師、検査技師、栄養士ほか、その他いろいろな病院での職業体験をしよう！

今年も
北野メディカル
ワンダーランド®を
開催します！



- 日 時：平成28年11月20日（日）
10:00～15:00
- 参加対象者：小学生・中学生・高校生
（家族同伴も可能）
- 参加費無料

※詳しくは、北野病院ホームページ、院内チラシをご覧ください。



特集

糖尿病の原因から
治療法について
糖尿病とは？

糖尿病内分泌センター
主任部長 濱崎 暁洋
看護部 看護師長 竹内 麻衣

「糖尿病の可能性を
指摘されたら必ず
受診しましょう」



竹内師長・濱崎主任部長

糖尿病は、食生活の欧米化や交通手段の発達に伴う運動不足など、私たちの生活習慣や環境の変化とともに、近年患者数が大きく増加してきた疾患です。発症初期には多くの場合、自覚症状はありませんが、放置したままにしていると、さまざまな合併症を引き起こします。

今回は、糖尿病の原因から治療法について糖尿病内分泌センター 濱崎主任部長と看護部 竹内看護師長にお話を伺いました。

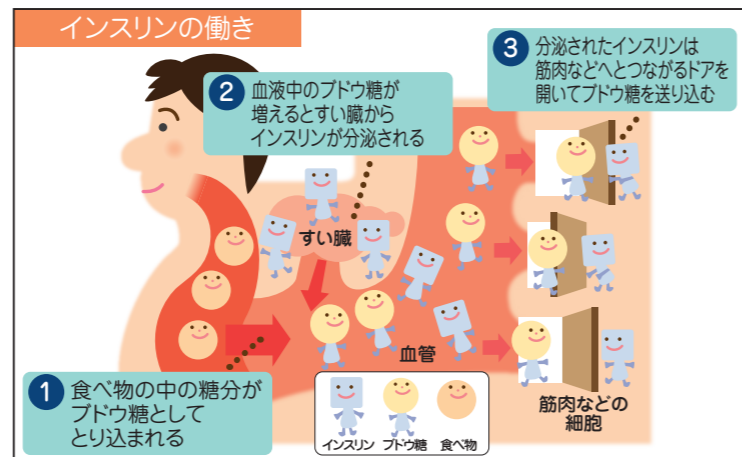
糖尿病とは？

私たちの体では、糖分を含む食べ物が摂取されると、糖分は唾液や消化酵素によってブドウ糖に分解され、小腸から血液中に吸収されます。血液中のブドウ糖が増加すると、すい臓から血液中のブドウ糖の値(血糖値)を下げる働きのあるインスリンが分泌され、ブドウ糖は筋肉などの末梢組織に送り込まれてエネルギーとして利用されます。このインスリンの分泌に支障が生じたり、末梢組織でのインスリンの働きが悪くなったことによって、血糖値が持続的に高くなった状態が糖尿病です。

糖尿病は、原因によっていくつか分類されますが、主なものとして、免疫などが関与して発症する「1型糖尿病」と、糖尿病になりやすい素因を持った人が生活習慣の変化をきっかけに発症する「2型糖尿病」の2種類があります。糖尿病患者さまの多くはこのうちの「2型糖尿病」です。

「1型糖尿病」は、本来外敵からからだを守るために働く免疫細胞が、何らかの原因でインスリンを分泌するすい臓のβ細胞に攻撃を加えて破壊してしまい、インスリンが生成されず強い欠乏状態になって血糖値が大きく上昇します。どの年代でも発症しますが、小児期を含めて比較的若い世代での発症が多いことが知られています。

「2型糖尿病」では、すい臓のβ細胞の働きが弱くなってインスリンの分泌量が低下する、あるいは肝臓や筋肉などの組織がインスリンの働きに対して鈍感になることが原因で、インスリンが血液中のブドウ糖を上手く処理できなくなり(インスリン作用不足)、血糖値の高い状態が続くようになって発症します。発症時期は、中高年に多く年齢の高い世代ほど有病率は大きいのですが、一方で肥満人口の増加とともに若年者における2型糖尿病の増加も問題となっています。



日本イーライリリー株式会社発行「2型糖尿病患者さん向け糖尿病ってどんな病気？」より

高血糖状態が慢性化して顕著な血糖値の上昇をみるようになると、以下のような症状が現れてきます。思い当たる症状があれば、まずは受診されることをお勧めします。

主な症状 「喉が渇く」「頻尿になる」「多尿になる」「体重が減る」「倦怠感が増す」

また、ほとんど自覚症状のない場合でも、高血糖が持続することで合併症が知らない間に進行するのが糖尿病の怖いところです。検診などで、高めの血糖値や尿糖が見つかったり、糖尿病の可能性を指摘された場合には、何も症状がないからとそのままにしておかず、必ず受診するようにしましょう。

治療法は？

糖尿病の治療は、高血糖が引き起こす「糖尿病神経障害」「糖尿病網膜症」「糖尿病腎症」といったいわゆる「3大合併症」や心血管障害(狭心症や心筋梗塞)、脳血管障害(脳梗塞など)といったさまざまな合併症の発症や進行を防ぐことを目的に行われます。糖尿病を有していても健康な人と変わらない日常生活の質と寿命を目指すのが最終的な治療目標です。そのために適切な血糖値、血中脂質、血圧、体重の維持を目指して治療を行います。インスリンの欠乏状態に至った「1型糖尿病」では、インスリン注射を必ず行うことが必要です。「2型糖尿病」の治療では、「食事療法」「運動療法」を基本に、必要に応じた「薬物療法」を患者さまの病態にあわせて組み合わせます。

糖尿病を発症してからの期間が長くなってくると、合併症が課題となってきますが、合併症を起こしている臓器それぞれに応じた専門的に対応が必要となることもまれではありません。糖尿病内分泌センターでは各専門診療科のバックアップを受けて診療を進めています。どのような状態にも高い専門性を持った診断と治療が提供できる態勢が整っているのが北野病院の大きな強みです。また、一般診察のほかに、「糖尿病療養支援看護師外来」を行っており、看護師が患者さまの生活について聞き取りをした

後に生活指導を行い、現在の治療法で日常生活に支障がないか確認し、治療にフィードバックすることができます。看護師外来の予約枠には限りがございますが、希望される方は主治医にご相談ください。

食事療法:

食事療法は糖尿病治療の土台といえます。食事の量や栄養素の配分を調節することで、必要な栄養をとりながら血糖値がコントロールできる工夫をします。栄養のエキスパートである管理栄養士の栄養指導を受けていただくことがとても有効です。

運動療法:

運動療法では、食事の後に一定時間早歩きをする、毎日の通勤でバス停をひとつ前で降りて歩く、といったような、生活に無理のないところで運動する習慣をつけることが長続きの秘訣です。進行した合併症があるときには、運動によってかえって病状を悪化させてしまうこともありますので、患者さまごとに適切な運動と運動量を提案しています。

薬物療法:

食事療法と運動療法を行っても血糖値の十分なコントロールが得られない場合に、薬物療法を併用します。薬物療法には、内服薬治療と注射薬治療があり、それぞれの患者さまの病態や生活習慣・環境などをきちんと把握して、一人ひとりの患者さまに最も適した処方を行います。

教育入院とは？

糖尿病の治療には日々の自己管理も重要です。そこで当院では、患者さまが糖尿病をよく理解し、生活習慣の改善に向けた自己管理の確立をサポートする「教育入院」をお勧めしています。そこでは、入院ならではのきめ細かな検査で一人ひとりにあった治療法の選択と療養指導が行われるとともに、糖尿病の治療をつづけるために必要な正しい知識を身に付けていただくことができます。教育入院には、糖尿病に関する一連の教室プログラムを受けていただき、望ましい食事習慣をしっかりと体験することのできる「2週間コース」と、週末の集中教室を受けていただく「2泊3日コース」があり、ニーズに合わせて相談させていただきます。



「ここ」がポイント!!

- 医師だけでなく看護師・栄養士・薬剤師・理学療法士など多職種が協力することで、患者さま一人ひとりにあった治療を行うことを常に心がけています。
- 糖尿病の治療にあたり、合併症の診療でも各専門診療科が力強くバックアップしますので、安心して受診いただけます。



医療のコトバ

これって何?

聞いたことがあるような、ないような?
難しい医療用語などを
わかりやすく解説します!



人工内耳のこと、ご存知ですか?

再び聴覚を獲得できる人工臓器です

人工内耳は内耳障害による高度難聴の患者さまが聴覚を再獲得できる画期的な人工臓器です。まず、手術を行い内耳有毛細胞の代わりとなる複数個の電極を蝸牛に挿入します。手術後に耳掛型補聴器と似たような形の体外装置を装着します。それから受信する音の種類によってどの電極にどれぐらいの電流を流すかを定める、プログラミングを行います。ここで初めて音が聞こえます。専用ソフトを備えたコンピューターに体外装置を連結し、聴こえやすさやうるささなど、患者さまの反応を確認しながらプログラムを作成します。体外装置に複数のプログラムを記憶させて、騒がしい場所や静かな場所など、状況に応じて使い分けます。新しいプログラミングシステムの導入によって、様々な状況を想定した、さらに細かい設定が可能となりました。



きたのトピックス

土屋医院音楽部の演奏会が今年も開催されました!

今回、土屋医院音楽部を紹介いたします。土屋医院は、東淀川区北江口にあり、当院とも地域連携が密接な医院です。土屋医院には音楽部があり、医院2階の練習場で日々練習を重ね、平成18年から毎年当院でコンサートを開催し、ついに10年目を迎えました。

院長である土屋和之先生のラグビーで鍛えられたお体から発せられるバリトンの響きや力強いチェロの音色は、音楽部の皆さんとの息もぴったりです。この演奏を楽しみに地元の患者さまも足を運ばれ、コンサートは大いに盛り上がりました。毎回とびっきりのプロの演奏者が

ゲストでご参加くださり、クライマックスには“ブラボー!”の掛け声もあがり、プラナホールでの演奏会は拍手喝采に包まれました。



とびっきりの演奏でステキな時間を!!



かかりつけ医のススメ

北野病院と連携いただいている医療機関をご紹介します!
「地域医療サービスセンター」では、「かかりつけ医」を探お手伝いをしています。お気軽におたずねください。

あなたのまちのホームドクター



米田 円(よねだ えん) 院長

大阪市
北区

米田内科胃腸科

【診療科目】胃腸内科・内科

親子二代で天六の皆さんの健康を守り続けた先生のもとへ
今日も多くの患者さんが訪れます。

今回ご紹介する診療所は、天神橋筋六丁目駅から徒歩5分ほどにある米田内科胃腸科です。消化器内科を専門とし、大学病院や大阪赤十字病院で数多くの患者様を診てきた米田先生は父親が開業した同クリニックで平成17年より院長として診療を行っています。専門の消化器だけでなく一般内科の診療もされており、毎日さまざまな症状の患者様が米田先生のもとに受診にいられます。

「腹部エコーや採血、上部・下部内視鏡などの検査を行うときはもちろんですが、診察も一人一人時間をかけて丁寧にすることを心がけています」。そんな先生は地域住民からの信頼も厚く、父親の代から通院されている顔なじみの患者様もたくさんおられます。また、急性腹痛や消化管出血などの緊急を要する症状の患者様が来院すれば、その良好なアクセスを活かし近隣の総合病院に迅速に紹介してまいります。

さらに、“地元密着型の診療所”を診療所の方針としてかかげる米田先生は、訪問看護ステーションとも連携しつつ、午前の外来診療が終わると在宅訪問診療に出かけます。「訪問診療の頻度は患者様の状態によって様々ですが、状態が気になる患者様だけでなく高齢の患者様のところには少し多めに様子を見に行くこともあります。やっぱり心配ですから」。地域に根差した医療を提供し続ける米田先生を頼り、今日も多くの患者様が米田内科胃腸科を訪れます。



診療所外観



診察室

米田内科胃腸科

〒530-0031 大阪市北区菅栄町5-17
TEL.06-6351-8938

診療時間	月	火	水	木	金	土
9:00~12:00	○	○	○	○	○	検査日
17:00~19:00	○	○	○	○	○	×

●休診日:日曜、祝日、火曜午前、年末年始、お盆
※土曜日は基本的に予約検査のみ

●アクセス:地下鉄谷町線、堺筋線「天神橋筋六丁目駅」①番出口から徒歩約5分

